

家庭で見える不登校のサイン(例)

全ての子どもは様々な悩みを抱えています。しかし、それを上手に言葉にし、大人に伝えられる子どもばかりではありません。その代わりに、子どもは「悩みのサイン」を大人に送っています。以下は、子どもの「悩みのサイン」の例です。

〔一般的な様子〕

- ア. 表情が暗く沈んでいるなど、不安げな様子が見られるようになる。
- イ. イライラしたり、ふてくされたり、言葉遣いが荒くなる。
- ウ. 他の人があいさつしたり、話しかけたりしても、嫌がるようになる。
- エ. 何かを決めるのに、時間がかかるようになる。
- オ. 気分の浮き沈みが見られるようになる。
- カ. 人の視線やうわさを気にするようになる。
- キ. 必要以上に甘えたり、わがままになったりするようになる。
- ク. 弟や妹をいじめるようになる。
- ケ. 勉強への意欲がなくなり、成績が下がる。



＜朝＞

- ア. 朝、なかなか起きなくなる。
- イ. 登校時刻になると、トイレに行くようになる。
- ウ. 着替えや朝食等、登校準備に時間がかかるようになる。
- エ. 頭痛・腹痛・発熱などを訴^うえるようになる。

＜夕方・夜＞

- ア. 翌日の学習用具の準備をなかなかしなくなる。
- イ. 夜遅くまで、パソコンやゲーム、携帯電話（スマートフォン）、SNS等に夢中になる。
- ウ. 学校の様子を聞いても、答えなくなる。
- エ. 友達や教師への不満などをつぶやくようになる。
- オ. 「つかれた」を何度も言うようになる。

＜土日＞

- ア. 外で友達と遊ぶことがなくなり、自分の部屋に閉じこもりがちになる。
- イ. 日曜日の夕方に体調の不調を訴えようになる。（月曜日等、休み明けに欠席する。）
- ウ. 今まで遊びに来た友達が、家に来なくなるなど、友人関係が変わる。
- エ. 部活動を休むようになる。